

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【公表番号】特表 2012-530938 (P2012-530938A)  
 【公表日】平成 24 年 12 月 6 日 (2012.12.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-051  
 【出願番号】特願 2012-516237 (P2012-516237)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 4 日 (2013.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光入射面、及び、前記光入射面に対向する光出射面と、  
 前記光入射面と前記光出射面との間に交互に配置された透過区域及び非透過区域であって、各透過区域がその最狭区域において幅  $W'$  を有する、透過区域及び非透過区域と、を含み、

連続する透過区域の平均ピッチ  $P$  が  $0.040\text{ mm}$  以下であり、  
 $W' / P > 0.75$  である、光制御フィルム。

【請求項 2】

前記光入射面に入射した光が、主視軸方向で  $65$  以上の最大相対輝度比 ( $RBR$ ) と、  
 $45^\circ$  以下の有効極視野角 ( $EPVA$ ) と、を有する前記光出射面を出射する、請求項 1  
 に記載の光制御フィルム。

【請求項 3】

各透過区域が屈折率  $N_1$  を有し、各非透過区域が屈折率  $N_2$  を有し、  
 $-0.005 < N_1 - N_2 < 0$  である、請求項 1 に記載の光制御フィルム。

【請求項 4】

前記光入射面から前記光出射面までの距離が  $0.080\text{ mm}$  未満である、請求項 1 に記  
 載の光制御フィルム。